

かわさき区の宝物シート

宝物No.	たろうのゆめ 太郎の夢
29-2	

エリア	全域	シーズン	通年
	—	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input checked="" type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input checked="" type="checkbox"/> 人物



所在地	販売店の所在地等は下記参照
問い合わせ	川崎市菓子協議会事務局 (川崎商工会議所中小企業振興部高津支所)
TEL	044-811-2804
FAX	044-811-2836
E-mail	takatsu@kawasaki-cci.or.jp
URL	
交通	



写真提供：菓子匠 末広庵／和菓子処 照月

基礎情報

■平成11年(1999)10月、岡本太郎美術館(多摩区)のオープンを記念して、川崎市菓子協議会に加盟する市内の和菓子・洋菓子店では岡本太郎記念銘菓「TAROの夢」の製造・販売がはじめられた。岡本太郎作の絵文字「夢」をテーマに、「TAROの夢」という商品名で各菓子店が、それぞれの技術と創造性でオリジナルの創作菓子を作るという試み。
■現在、市内における「TAROの夢」の製造・販売店は約12店舗ほど。川崎区内では2店舗において取り扱われている。

由来・エピソード

■「TAROの夢」は、岡本太郎氏の大胆な作品とその創作活動に敬意を表し、同氏の養女で秘書を努めていた岡本とし子氏の協力のもと、作り上げられた創作菓子。川崎市と川崎市菓子協議会が話し合いを重ね、各加盟店が思いを込めて、従来の菓子の概念にとらわれない新しい創作菓子を目指した。
■川崎区では、「菓子匠 末広庵」の口溶けのよいクリームチーズを小豆餡でつつみ、柔らかな生地でコーティングしたものと、「和菓子処 照月」のミネラル豊富な古代米(黒米・赤米)をブレンドしたサブレットタイプのものである。他にも川崎市内では、各店で趣向をこらした様々なタイプの「TAROの夢」が創作・販売されている。

補足・その他

■川崎区内の「TAROの夢」製造・販売店(平成28年(2016)1月現在)
菓子匠 末広庵 川崎区東田町3-16(本店) TEL:044-233-4658
和菓子処 照月 川崎区京町1-18-1 TEL:044-344-0417

■川崎市菓子協議会多摩麻生支部の加盟店が共同でつくった「TAROの夢もなか」は、川崎市と商工会議所、市観光協会連合会が主催するかわさき名産品認定事業において選ばれたものである。

関連シート

(11-2)岡本太郎作「喜び」像
(29-3)せいれい